

ひよこ・すみれ組だより

3月

日に日に寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。早いもので4月の入園、進級から1年が終わろうとしています。保護者の方と一緒に子どもたちの成長を見守っていただけるととても嬉しく思っています。又、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあります。引き続き、健康管理に十分に留意し過ごしていきたいと思ひます。

つき組さんとお散歩にいきました。

お別れ会でひよこ・すみれ組さんとの散歩を選択したつき組さんと、こども公園まで手を繋いで一緒に歩いたり、避難車を押してもらいながら、散歩に行きました。小さかった頃の思い出や、お家での出来事等をたくさん話してくれました。お茶がこぼれると拭き、滑り台の階段を上ろうとするひよこ組さんを落ちないように、そっと後ろで支えてくれるつき組さんの姿を見てとても誇らしく、思いやりの心が受け継がれ、たくましく成長することを感じました。



身近な素材で遊ぶ



荷物の梱包に使用するエアークッションで、子ども達はいろんな遊びをしています。月齢の低い子は素材の感触を楽しんだり、振って音を出したりしながら遊んでいます。すみれ組さんになると、丸めて双眼鏡にして遠くを見たり、人形や玩具を包んだりしています。家庭内にある身近な素材、大人が良く使用するものに興味・関心が高いようです。又、ひも通しや洗濯ばさみ等、手先を使う遊びは脳に刺激を与え言葉の獲得や認知力、又はコミュニケーション能力を育てます。是非、お家でも試してみてください。

1年を振り返ってみて、座る、はう、立つ、歩く等の運動機能が発達し、口の周りを拭く、手を洗う、靴を履く等の基本的な生活習慣が身について、一人でできる事が増えました。身の回りの環境を通してお友達との関わりが増え、やりとりが成立してきています。保育教諭との信頼関係の下、0歳児が1歳児の姿を見て学び、1歳児が0歳児を慈しむ気持ちを持って一緒に生活する事で一人ひとりの成長がより豊かになってきていると感じます。又、園庭の自然環境の中で探索活動が十分にできました。



4月からすみれ組さんは、お部屋が変わります。新型コロナウイルス対策の為、もも組さんの部屋に遊びに行く事ができませんが、自室で少しずつ進級の準備をしています。手指の機能が発達し、食器を持ちこぼさず食べるようになってきているので、3月から乳幼児用の食器から幼児用の食器に変わっています。又、登園したら自分で連絡帳を靴から出したり、汚れ物をビニール袋に入れたりしています。ひよこ組さんは、自分のマークの付いたエプロン掛けから巾着を取り、テーブルに貼ってある顔写真を見つけ、ひとりで座っています。又、お布団からコット(ベット)へと移行しています。もも組さんで使用している玩具等お部屋に持ち込みゆっくと新しい環境になれるように工夫していきたいと思ひます。



西日本新聞にとってもシンプルな子育ての方法が掲載されていました。 加藤紀子の子育てカフェ 生き抜く力から

○子どもが自信を持てるコツ○

- ① 子どもの失敗を恐れない。
子どもの失敗を心配し、先回りして大人がお膳立てをしてしまうと、こどもは無気力になってしまいます。失敗は成功のもと。子ども自身が「やればできる」と考えられるよう勇気づけると、自信につながります。
- ② 子どもの邪魔をしない。子どものやる気は自信の源。
やる気は好きなことを学ぶときに感じる楽しさやワクワク感から生まれます。
好きなことを深掘り好奇心を刺激するには、大人が子どものスケジュールを埋めてしまつては逆効果。**自由に没頭できる時間が必要です。**
- ③ 点数や順位などの成果で繰り返しほめると、子どもは自分のできないことばかりに目が向くようになります。無条件にありのままを受け入れることで、こどもは「理由はないけどうまくいくような気がする」と思えるようになるのです。



『子どもは自分を信じてもらうことによって、信じてくれた人を信じ、そして、自分が信じられたことによって、自分を信じていることができるのです。』

児童精神科医・佐々木正美先生の言葉より



この1年間、子どもたち一人ひとりの成長を身近で感じることができ大変うれしく思ひます。いろいろと行き届かない点もあったかと思ひますが、たくさんのご理解、ご協力、本当ありがとうございました。これからの子どもたちの成長を楽しみにしています。

～ひよこ・すみれ組担任～

